



梅が香に のっと日の出る 山路かな (松尾芭蕉)

(早春の山道を歩いていると、梅の香りにさそわれるかのように、太陽がのっという感じで顔を出した)

高校や大学の入学試験が済み、ほっと一息の子どもたちもいることでしょうか。これから学校では、卒業式や終了式が行われるなど、年度末のまとめの時期になります。

そして、春休みまであとわずかです。春休みは、子どもたちにとって今年度の反省をするとともに新しい年度の準備をする大切な時期です。どのような春休みにすればよいのか考えてみましょう。

新年度に向けての準備

4月から新年度が始まります。進級する者、新たな学校に通学するようになる者などそれぞれ新しいステージを迎えます。子どもたちが新年度を迎えるにあたり、どのような準備をしたらいいのでしょうか。

一つ目は「心の準備」です。「新年度が始まる。よーし、頑張るぞー」とやる気・意欲を高めておくことが大切です。できれば、具体的な目標を立てておきましょう。例えば、「友達をたくさん作る」「苦手教科を克服する」「〇〇高校に入学できる学力を付ける」「〇時間以上勉強をする」「部活を休まない」「レギュラーを



獲得する」等……。目標を子どもさんと一緒に考えてみることもいいのではないのでしょうか。そうすれば、保護者の皆さんも声をかけやすくなるのではないのでしょうか。

二つ目は「学習の準備」です。教科で理解できていない内容があったら、そこを埋めておくことです。苦手な教科があったら、その教科を中心に学習をしておき、苦手意識を少なくしてから新しい学年を迎えることが大切です。そのためには、春休みの間に教科書をもう一度読み直したり、また購入していたドリルを再利用して問題を解いたりすること等が良い学習方法です。

三つ目は「物の準備」です。新学期を迎えるにあたって、どんな物が必要になるのか、学校の先生から指導があると思いますが、新しいノートとか文房具等を揃えておくとかやる気が出てきていいと思います。準備不足で新年度がマイナスからのスタートでは気持ちよくありません。気持ちよくスタートが切れるよう、子どもさんに十分な準備をさせてください。

子どもたちにとって、新しい友達との出会いや新しい先生との出会い、新しい世界が待っています。新年度が子どもたちにとって良い年でありますように……。